

1月17日(月)

## 私の喜びを奪うことはできません

聖書朗読 イザヤ35

彼らは主の栄光、私たちの神の威光を見る。

イザヤ35:2

世界中がコロナ禍に見舞われた2020年は、私たちの人生において常軌を逸した1年として歴史に残るでしょう。すべてのガイドライン、制限、隔離などが、私たちみんなに影響を与えました。イザヤ書35章は、困難にあるときの神様の御力、私たちと共にくださること、神様のお約束を思い起こさせます。神様についてこのことを覚えるとき、イザヤ書は、喜びを失った人たちを探して、彼らにイエス様ゆえの心の平安を示すことを私たちに思い起こさせます。

イザヤは「弱った手を強め、よろめくひざをしっかりとさせよ。」(3節)と私たちを励まします。恐れのある心を持つ人たちが、「強くあれ、恐れるな」(4節)というみことばを思い出すために、私たちが神様の声になりましょう。

イザヤはすべての世代に向けての神様のお約束を明言し、「彼らは喜び歌いながらシオンにはいり、その頭にはとこしえの喜びをいただく。楽しみと喜びがついて来、嘆きと悲しみとは逃げ去る。」(10節)と神様の救いについて語りました。誰にも、何ものにも、あなたの喜びを奪われてはいけません。私たちの神様をご支配されているのです。イエス様が埋葬された墓はいまも空のままです。いつの日にか、イエス様がお戻りになられ、私たちを御国へと連れて行ってください。

讃美歌 286

祈り 親愛なる神様、私たちすべての者のお父様。私たちを身体的にいやし、なによりも霊的にいやしてください。あなたのお約束が私たちの喜びと勇気を元気づけてくれますように。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

アンディ・ベイカー  
テネシー州、フランクリン

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

1月18日 (火)

## 神様は「帰れ」と願われます

聖書朗読 エレミヤ 3：11～13

わたしは恵み深いから。一主の御告げ。一わたしは、いつまでも怒ってはいない。  
エレミヤ3：12

聖書のこの箇所のキーワードは「帰れ」です。預言者エレミヤは鮮やかなイメージを用いて、イスラエルとユダの悲しい霊的状态を描いています。第3章では、それが不貞の妻のイメージになっています。神の民は、他の恋人のせいで神様を捨ててしまいました。神様は、ご自身の民に悔い改めた心からの真摯な信仰を持つことを望んでいらっしやいます。神様は約束されます。悔い改めるなら、彼らを赦されると。イスラエルとユダがひとつになるとき、神様は御国に向けてはるか先をご覧になっているように思われます。王国は清められ、神の民を育てる霊的な指導者を神様は彼らにお与えになります。

契約の箱と神の宮がなくなる日が来ることや、割札を受けたユダヤ人が割札を受けていない異邦人のように扱われて、新しい契約が有効となる日が来ると聞いて、人々はショックを受けたに違いありません。エレミヤはイエス様と同じように、宗派の表面的なことを超えて物事を見て、そして神様は心からの献身を求めていらっしやることを人々に教えました。それが今日の大切なメッセージです。

讚美歌 II 95

祈り 親愛なる神様。あなたにお仕えし、あなたをたたえたいと私たちの心が願っていることを、あなたがご覧になってくださるようにお祈りします。私たちを愛してくださることを感謝します。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

エディ・C・ルイス

ミシシッピ州、オリーブ・ブランチ

1月19日 (水)

## 陶器師と粘土

聖書朗読 エレミヤ 18：1～10

しかし、主よ。今、あなたは私たちの父です。私たちは粘土で、あなたは私たちの陶器師です。私たちはみな、あなたの手で造られたものです。

イザヤ 64：8

神様は土地のちりて人を形造り、人の鼻にいのちの息を吹き込まれました。時代を超えて現在に至るまで、神様はご自身の目的と礼拝のために、神の民という粘土を形造り続けていらっしやいます。

陶器師は制作工程について語り、各工程で粘土を加工します。粘土を成形し、切断し、ろくろで回し、釜で焼き、色付けをします。完璧な作品を完成させるには、陶器師によるすべて工程が大事です。もし私たちが粘土だったら、この過酷な扱いに涙を流して疑問を抱くかもしれません。「しかし、人よ。神に言い逆らうあなたは、いったい何ですか。……陶器を作る者は……作る権利を持っていないのでしょうか。」(ローマ9：20～21)。

神様が私たちを神様に用いられる器に仕上げてくださいることを喜んで受け入れますか？ アデレイド・ポラード(1862～1934)が何年も前に「成したまえ汝が旨」に書いたように、祈りを込めて神様にすべてをお任せしますか？

「なしたまえ汝(な)が旨。陶人(すえつくり)わが主よ。我はただ汝が手の内にある土塊(つちくれ)」

聖歌 295

祈り 天国のお父様。日々の暮らしの中でのあなたが私たちを気遣ってくださることが私たちの信仰を強めてくれます。私たちが成長して、御旨のままに美しい創造物になることが願いです。こんなにも深く私たちを愛してくださることに感謝します。

イエス様の御名においてお祈りします。アーメン。

キャロル・ロードス

コロラド州 プエブロ

1月20日(木)

## ゆりのような人生が咲く

聖書朗読 ホセア14章

わたしは彼らの背信をいやし、喜んでこれを受取る。私の怒りは彼らを離れ去ったからだ。わたしはイスラエルには露のようになる。彼はゆりのように花咲き

ホセア14:4~5

ホセア書の最後の章で、預言者ホセアはイスラエルの民に神様に赦しを請うように言います。ホセアはイスラエルの民に「すべての不義を赦して、良いものを受け入れてください。私たちのくちびるの果実をささげます。」(2節)と神様に懇願するように言います。ホセアは、アッシリアも軍馬も、またイスラエルの民が神として礼拝するために作った偶像も、彼らを救ってはくれないことを思い起させました。神様に赦しを願って立ち返ることを選択するなら、イスラエルの民は繁栄することが約束されていました。

繊細な露のイメージは、初夏の朝の涼しい風を感じたことのある人みんなの心に響きます。イスラエルの民は美しい花のように成長し、レバノンの香りのよい杉のように根を下ろすと約束されています。

赦し、いやし、そしてより良い生き方のための約束は、イエス様によって繰り返されています。神様を信じる者として、私たちはキリストの愛ある犠牲を通して、神様に赦していただくという祝福をいただき、新しくされるのです。「わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」(ヨハネ10:10)。充実した人生、幸せな人生、赦された神の子として生きる人生。なんという御恵みでしょう！

讃美歌 136

祈り 主よ。あなたの赦しを謙虚に求めることができますように助けてください。より良い人生への唯一の道は御子を通してであることを、私たちが覚えることができますように。私たちが、今もこの先もそのような充実した人生を生きることができるように助けてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

シャロン・フォスター  
テネシー州 マキューエン

1月21日(金)

## 闇の中でも

聖書朗読 ハバクク 3:8~19

しかし、私は主にあつて喜び躍り、わが救いの神にあつて楽しもう。

ハバクク 3:18

ハバククは神の民であるイスラエルの罪深さを嘆き悲しみました。しかし、神様にはご計画があり、それを成し遂げようとされていました。最後には義が打ち勝つのです。

私たちを取り巻く状況がもう耐えられないと感じられる時、神様は一体どこにおられるのかと思ってしまう。でもハバククがそうしたように、私たちも神様は義をなされると信ずることができます。神様は必ず、困難や辛いことを見越して耐える力を与えてくださいます。神様は、私たちが死の谷を上手く通り抜けられるように道案内して山頂に立てるようにしてくださいます。

小説家エリザベス・エリオットはこう言っています。「神は神です。神であるから、私は礼拝しお仕えするのです。神のみ旨以外にはどこにも安きを得ることはできません。神のみ旨は必然的に無限かつ計り知れず、神が何をご計画されているかは私には思いも寄らないことです。」

神様は究極の目的のために、あらゆる場面の裏で働いてくださっていると気付けば、私たちは恐れや心配から解放されます。神様は全能のお方です。

私たちは何てよく、最後の、か細い頼みの綱のように神を見上げていることか。私たちは行き場がなくなって神のもとに行く。そして学ぶのだ。人生の嵐は私たちを座礁させはしなかった。希望の港へと駆り立ててくれたのだと。

—ジョージ・マクドナルド

讃美歌 291

祈り 無限なる全能の神様、無秩序と未知なるものただ中であつて、あなたを静かに待つことができますように助けてください。闇の中にあつてもあなたをほめたたえることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

ダナ・メレネス  
テキサス州 ヴィクトリア

1月22日(土)

## イエスは助けることができます

聖書朗読 マタイ 4:1~11

イエスは、自ら試みを受けて苦しまれたからこそ、試みられている者たちを助けることができるのです。ヘブル 2:18

知っています、経験済みです。以前やったことがあると難なくできるというのはすばらしいことです。

25年前にナッシュビルに初めて越して来た時のことを思い出します。私はしょっちゅう道に迷っていました。というのもナッシュビルでは通りを運転しているとその通りの名前が変わるのです。ブライリー・パークウェイはウッドモントになって、ハーディング、ホワイト・ブリッジとなって、またブライリーになったりします。運転していて、あれ曲がる所、間違えたかなと思ったりしたものです。今では問題なくナッシュビルの街を走行しています。25年間、走っているのですから。

イエス様と私たちの関係も同じことです。神様はすべてをご存じです。御子なるお方も当然すべてをご存じです。でも実際に何かをしてみると、ただ知っているというのとは違った知識が得られるものです。

私たちが「イエスは試みを受けるということがどういうことかを知っておられた。」と言う時、それはイエス様は自ら試みを受けて苦しまれたという意味なのです。イエス様は快樂や権力や妥協への誘惑を受けられました。いろいろな風に私たちは試みを受けます。イエス様は誘惑されるもがき苦しみをご存じです。

だからこそイエス様は苦しんでいる私たちを助けてくださいます。愛なる神様は私たちを試みへと導いたりはしません。イエス様、試みの時、共にいてください。

讃美歌 316

祈り 主よ、あなたが私たちのことを知り愛しておられるのを知っています。試みや苦難のときにも、あなたに信頼し希望を持ち続けられるように助けてください。いつもそばにいてくださることを感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

ゲイリー・ハロウェイ  
テネシー州 ナッシュビル

1月23日(日)

## 「ばか」っていう悪口

聖書朗読 マタイ 5:22~26

しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に対して怒る者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に「ばか者」と言う者は最高法院でさばかれます。

マタイ 5:22~26

息子が幼稚園に入った頃、彼が何か悩んでいることに気が付きました。ある晩、就寝前のお祈りを終えた息子に訊いてみました。息子は、友だちが悪い言葉を使うんだと言います。私は勇気を出して、どんな言葉を使うのと訊いてみました。息子が言うには、みんな「ばか」って言うんだよ。もっとひどい言葉じゃなかったのにちょっとほっとして、確かに「ばか」なんて言っちゃだめよと教えてきたことを認め、傷つきやすい心を持っている息子を慰めました。私たちはひどい言葉を聞いて悩んだりするのでしょうか。イエス様は、人々が自分は尊いと感じられるように、イエス様のみことばによって励まされるようにと、あわれみをもって話されました。最近、誰かががっかりさせるような言葉を言うのを耳にしましたか。

私たちが生きている時代には、分別があっても良さそうな人々が非常に不親切で不和を生む失礼な言葉を発するということがあります。どうしたら私たちは他の人たちが言うことを我慢強く聞いて、クリスチャンの信仰を曲げずに、彼らの立場を理解しようとすることができるのでしょうか。ひどい言葉が発せられた時、どのように対応したらよいのでしょうか。親切で勇敢な答えをするには大変な思いやりと勇気がいることがあります。恐れではなく信仰を、絶望ではなく勇気を選び取りましょう。スーパーヒーローが良いことを言っていますよ。「手が届かない人のことは、いつも祈って抱きしめるんだ。」

讃美歌 525

祈り 親愛なる主よ、優しいあわれみ深い言葉を使うようにと、私たちにお手本を示し教えてくださってありがとうございます。イエス様のように他の人たちに答えることができるように勇気をお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

スーザン・K・ギボニー  
カリフォルニア州マリブ